

◇ 医療・看護・介護・福祉の役立つ情報、元気が出る！医労連のホームページをご覧ください

愛知県医労連2016秋闘速報6

発行 2016年9月14日 愛知県医労連・西尾副委員長
連絡先 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-3労働会館本館403
TEL052-883-6955 FAX052-883-6956 E-mail irouren@roren.net

労働時間短縮・夜勤の負担軽減へ 医労連国際シンポ

日本医労連は看護師の夜勤交替制労働の改善を目指す国際シンポジウムを9月6日、東京・星陵会館で開催し全国から319名が参加しました。愛知県医労連からは7組織12名が参加しました。国際シンポの開催は15年ぶりです。

シンポジウムは、フランス、オーストラリア、韓国、日本の各国とILOから報告し、大原労働科学研究所の佐々木氏がコーディネーターを務めました。フロアー発言は全日赤、KKR 札幌過労死裁判原告、愛媛県医労連が行いました。



開会あいさつを行う日本医労連中野委員長

フランス労働総同盟医療福祉労連の執行委員フランスワーズ・ゲングさんは、「フランスは週35時間労働だが健康や家庭生活に及ぼす夜勤の悪影響を訴え、労働時間短縮を勝ち取り12間以上の夜勤は規制された。夜勤看護師は慢性疲労、睡眠不足、うつ病やストレス、乳がんにかかるリスクが高まり勤務を短くする必要があり、何年も続けるのは危険だ。夜勤専門は反対している。」と指摘しました。日本が16時間夜勤が行われていることを聞き、「あきれてしまった。信じられない。」と驚きの表情を示しました。



4か国の労働組合の代表者ら

オーストラリア看護師助産師連合のニコラス・ブレイクさんは、「キャンペーンを展開し国民世論を味方につけ1990年代から病棟や夜勤・日勤ごとの『患者対看護師の配置基準』の要求を実現し、看護師の離職の防止と医療サービスの向上に」つなげた。一般病棟の夜勤では、

看護師1人に対し患者8人の基準が設定されており、この基準に満たない場合は病床数や看護の業務を減らすことが義務付けられている。」と報告しました。また、世界の医療費削減の動きを跳ね返していこうと力を込めました。

韓国保健医療労組のハン・ミジュン書記長は「6割の看護師が離職を考えており、職場では『妊娠順番制』が今も存在し『戦争のような夜勤』と呼んでおり看護師不足や夜勤の長時間労働の現状は日本と共通している」と報告しました。

日本医労連の看護師の清水明子さんは、日本医労連が取り組んだ看護職員実態調査を示し、2交代の医療施設は32%を越し、仕事から仕事までの休息時間は短く慢性的疲労やストレスを感じ、辞めたいと考えている人が6割いると指摘。

ILOのクリスチャヌ・ウイスコー作業部門別活動局専門官は、「看護師自身が自分の持っている権利を理解していないことや、自分の健康を犠牲にして患者のケアを行ってしまうという実態がある。国民を味方に引き寄せ、声を大にして看護労働の状況を語ってほしい。安全な医療提供のためには長時間労働に看護師自身が『ノー』ということが必要だ。」と話しました。



奮起せよ日本の看護師と呼びかける佐々木氏

コーディネーターの佐々木氏は看護師の健康が害していることは明らかだと示し、「ウェイク・アップジャパニーズナース！」と題目し、目を覚ませ、奮起せよと呼び掛けました。

フロア発言したKKR札幌病院で新人8カ月にして過労自死したお母さんの話しに各国の代表から哀悼の意が表されました。

各国共通して労働時間やインターバル規制に罰則がなく労働条件が守られないこと、不払い労働はどの国も課題であることが示されました。集会では「国際連帯を強く求め、国民の保健衛生向上と労働時間短縮。夜勤の負担軽減を強化し、看護職員が働き続けられる条件をつくらう」と国際シンポジウム共同宣言を拍手で採択しました。

看護師の夜勤世界では……

日本医労連は6日、東京都内で、看護師の夜勤交代制労働の改善を目指す国際シンポジウムを開催し、各国の医療関係労組の代表が参加し、それぞれの国の現状と課題を報告し、交流しました。国際シンポの開催は15年ぶりです。

20160907付「赤旗」

主催者あいさつした 報告したILO(国際労働機関)のクリスチャヌ・ウイスコー委員長は、台風や地震などのさまざまな災害などのおおきき問題になるのが、介護、医療現場での人員不足だ。夜勤の負担軽減は必要だが、夜勤労働の抜本改善を求めている。政府に働きかけていきたいと語りました。

各国から参加したバ

医労連が国際シンポ 労働環境改善へ交流

ネリストが発言。オーストラリア看護師助産師連合のニコラス・フレイクさんは、看護師1人に対する患者数を決める配置基準を見直したことで、看護師の離職率を改善させたことを報告しました。

フランス労働総同盟(CGT)医療福祉労連のフランソワーズ・ゲンクさんは、夜勤は必要部門に制限し、夜勤専門の労働者をつくらないことの重要性を述べました。韓国保健医療労組のハン・ミジョンさんは、看護職員の実態調査から「妊娠の順番制」など人権



海外からの報告者を招いて行われる日本医労連国際シンポジウム。6日、東京都千代田区

参加組織

- 全医労東尾張 1、全医労愛知地区 1、
- 国共東海 2、みなと生協 1、南生協 1、
- 名南会 1、北生協 1、豊橋市民 1、
- 書記局 3

国際シンポジウム共同宣言（案）

国民の保健衛生向上のために、労働時間短縮・夜勤の負担軽減を強化し、看護職員が働き続けられる条件をつくろう

医療・保健産業に働くオーストラリア、フランス、韓国、日本の4か国の仲間は、本日、東京・日比谷の星陵会館ホールにおいて「看護師の夜勤交替制労働の改善を目指す国際シンポジウム」を開催した。

シンポジウムには、医療関係団体、研究者のみなさんにもご参加頂いた。4か国を代表して、各国のシンポジストが、看護職員の夜勤の実態や課題、取り組み等を報告し、参加者とも意見交換を行った。

オーストラリア看護師助産師連合は、「看護師1人に対し4人を超えて患者が1人増えると、入院後30日以内に患者が死亡する確率が7%増加」などの国際的エビデンスを紹介しながら、「患者対看護師の配置基準」の実現が看護師の離職を改善し、看護の質の向上をもたらしたことを報告した。

フランス労働総同盟医療福祉労連は、夜勤の健康や社会生活への悪影響を軽減するために労働時間短縮を勝ち取ってきたこと、夜勤は必要な部門に制限し、夜勤専門の労働者をつくらない重要性を述べた。

また、韓国保健医療労働組合は、看護職員の実態調査結果から妊娠の順番制や暴力などの人権侵害について報告し、大幅増員にむけた法律制定の必要性を訴えた。

日本医労連は、世界に例のない16時間以上夜勤や、不払い労働の横行などの問題に触れ、患者の状況や業務量に看護師数が追いついていない実態を報告し、増員と夜勤交替制労働者の労働時間短縮の必要性を訴えた。

各国に共通するのは、いのちに直結する医療や保健分野まで営利化を狙う企業、社会保障分野の国負担を縮減したい政府による攻撃が、全体に強まっていることである。利益のみが最優先される世界経済の中で、貧困と格差はより深刻になり、必要な医療も受けられない人々が増え続けている。私たちは、ILO看護職員条約が示す看護職員の「国民の健康及び福祉の保護と向上を果たす重要な役割」に賛同する。いかなる社会や経済的状况でも、保健は良い影響をもたらす、看護職員の果たす役割はより効果的である。世界最大の医療職種である私たちは、労働時間短縮・夜勤の負担軽減強化を実現するために、国際連帯を強めていくことをここに宣言する。

2016年9月6日

看護師の夜勤交替制労働の改善を目指す国際シンポジウム・参加者一同
オーストラリア看護師助産師連合
フランス労働総同盟医療福祉労連
韓国保健医療労組
日本医療労働組合連合会